

平成22年度 学校関係者評価書

大阪市立田島中学校関係者評価委員会

1. 全体のまとめ

全体として、学校は生徒・保護者から年々信頼を得てきている。また、学校を評価し、改善していくという意志が定着してきたことが、学校の自己評価や教職員のアンケートからわかる。学校が、多様な取り組みを創造し、保護者や地域、関係機関が協力することによって、生徒達が、落ち着いた学校生活を送れるよう努力していることが、各資料から読み取ることができる。地域や保護者が望む学力向上については、年々の積み重ねで成果が現れてきたが、道徳の向上や生活指導の充実、学校の努力だけで簡単に実現できるものではないということがわかる。今後も自己評価結果を活かし、年ごとの重点項目の設定による、学校改善を続けていただきたい。また、家庭や地域の役割について、積極的に情報発信していただき、協力の輪を広げていきたい。

2. 項目別評価について

(目標を A. 上回って達成できた B. 概ね達成できた C. 下回った D. 大きく下回った)

(1) 学校経営 ○学校経営については、外部から見えないので、評価が難しいが、職員アンケートの過去5年で最も高い評価となっている。 ○今年度、教員の相互参観研修週間や1日学校公開や参観週間の実施等、新たな取り組みが進んだ。	評価 <b>A</b>	(2) 学習指導 ○職員アンケートや自己評価では、先生方の、教材や指導法について概ね高い評価となっており、生徒の授業に対する評価も、年々高くなってきている。 ○学習到達度の低い生徒への取り組みが、依然として課題となっている。	評価 <b>B</b>
(3) 生活指導 ○自己評価は高い評価となっており、今年度、先生方が粘り強く取り組まれたことは、地域でも聞き及んでおり、学校は、以前に比べ落ち着いた状態になっている。 ○生徒自身は、評価は良いが、保護者の評価は、昨年と比べ厳しくなっている。	評価 <b>A</b>	(4) 保健管理 ○職員アンケートで病気・ケガの対応について「適切」が引き続き高い割合となっているのは心強い。生徒への美化・緑化活動への指導も適切おこなわれている。 ○AEDの設置を周知し、2・3年生への救命講習が実施された。	評価 <b>A</b>
(5) 進路指導・キャリア教育 ○関係機関との連携、情報収集と生徒・保護者への情報提供や3年間の系統だった指導等いずれも評価できる。 ○職場体験アンケートからキャリア教育についての生徒・保護者の評価の高さがうかがえる。	評価 <b>A</b>	(6) 特別支援教育 ○個別の指導計画に基づき、一人一人に適切に支援がなされている。発達障害支援体制モデル校として、研修が進んでいる。 ○教育活動支援員の配置等で、発達障害がある生徒へも適切に支援できている。	評価 <b>A</b>
(7) 人権教育 ○いじめたり人を傷つけるようなことはしないと答える生徒が8割を超え、命の大切さを学ぶ機会が多いも増加した。 ○民族講師を招いての学習や民族学校との交流で、自他を認め合う集団の育成が進んでいる。	評価 <b>B</b>	(8) 特別活動 ○アンケートから学校行事を楽しみにしている生徒が、この5年間で増加傾向にある。 ○生徒会は、あいさつ運動や募金活動に自主的・意欲的にとりこんでおり、大部分の生徒は協力して活動している。	評価 <b>B</b>
(9) 安全管理 ○警察官による交通安全教室・防犯教室が計画的に実施されている。また、今年度、初めて「ケータイ安全教室」を実施した。 ○関係機関等から不審者情報があれば、生徒に注意喚起し、校区小学校にも情報提供している。	評価 <b>B</b>	(10) 道徳 ○人権教育、キャリア教育、健康教育、安全教育特別活動や学校行事、各教科等すべての教育活動を通じて推進する体制が出来ている。 ○地域アンケートでは、学校への要望が最も大きい。	評価 <b>B</b>
(11) 研修 ○課題を持つ生徒に対する支援方法について多くの研修が行われた。 ○授業力向上にむけた研究授業・公開授業が昨年より、多く実施されており、学力向上と生活指導の研修が拡充されている。	評価 <b>A</b>	(12) 施設・設備 ○廊下の塗り替えや清掃活動で、学校の美化が進んでいる。施設整備委員会等で整備箇所の検討がされている。 ○生徒の施設・設備を大切にしているという回答が、過去最大の87%となった。	評価 <b>B</b>
(13) 保護者・地域住民との連携 ○地域アンケートより「田島中だより」が今年もよく読まれていることがわかる。 ○「ふれあい祭り」等の地域行事に生徒も主催者側として参加し、連携が進んだ。 ○小学生への出前授業や学校説明・部活見学等で小中連携も進んでいる。	評価 <b>A</b>	3. 今後の改善方策について ○今後も生徒が、授業がわかりやすく、楽しいといえる授業づくりを進める。 ○保護者・生徒が悩みを相談しやすいような、福祉的な視点を持った学校体制の構築を図る。 ○保護者・地域・小学校との連携をより緊密にし、一貫性のある教育を推進する。	